

○袁 世華（長春中医学院）、板倉弘重（国立栄養・健康研究所）、池川哲朗（金沢大学生命科学）、大西英胤、佐久間徹、小林潔正、萩野宏、中島 修（国立熱海病院、内科）

〔目的〕 中国で保健薬として用いられている灯臺花を主として、血行改善を目的とした新漢方配合剤、五淨心の基礎薬理作用、抗酸化作用などを研究し、それに基づいて循環器系疾患に対する臨床治療法を研究することを目的とする。

〔方法〕 五淨心は、灯臺花を主として、丹参葉、山査子、鶏血藤、鬱金、紅花、降香、桂皮、生姜、陳皮、御種人参を含む新漢方配合剤である。犬を用いた脳血流量及び脳血管抵抗を測定、高血圧症ラットの血中脂質の測定、血液流動学的測定、抗酸化作用はポストカラム法で測定した。高血圧症、糖尿病の症例については、自覚的改善、d-ダイマーの測定、CTスキャンなどで効果を判定した。

〔成果〕 犬を用いた基礎薬理実験では脳血流は五淨心を経口投与した後、60分で対照群の3倍に達した。脳血管の抵抗（血圧／脳血流）も投与40分後に低下しはじめ100分以上持続し、いずれも対照群と優位の差があった。また、高血圧症ラットの実験では、丹参に優るとも劣らぬ血中脂質の増加抑制作用を示した。全血粘度、血漿粘度など血液の流動性を検討したところ、五淨心投与群に比して、著しく増していた。また、抗酸化作用はイチョウ葉より強い作用をもっていた。特に、灯臺花はイチョウ葉の10～30倍の強さをもっていた。脳梗塞、一過性脳虚血患者10例について6ヶ月以上五淨心を投与した後、D-ダイマーの平均値が250から80に減少し、瘀血スコアの平均値も投与前80から10.2に減少した。これらの症例はCTスキャンによっても、脳血流の改善が確認された。なお、本剤には急性、慢性毒性とも認めなかった。